

(様式第 9)

平成 21 年 10 月 2 日

厚生労働大臣

熊本大学医学部附属病院長
猪股 裕紀洋

熊本大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 20 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

| | |
|--------|--------|
| 研修医の人数 | 68.8 人 |
|--------|--------|

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

| 職種 | 常勤 | 非常勤 | 合計 | 職種 | 員数 | 職種 | 員数 |
|-------|------|------|--------|---------|-----|-------------|------|
| 医師 | 339人 | 257人 | 514.5人 | 看護業務補助 | 13人 | 診療エックス線技師 | 0人 |
| 歯科医師 | 17人 | 14人 | 28.2人 | 理学療法士 | 8人 | 臨床検査技師 | 55人 |
| 薬剤師 | 37人 | 0人 | 37人 | 作業療法士 | 4人 | 衛生検査技師 | 0人 |
| 保健師 | 0人 | 0人 | 0人 | 視能訓練士 | 4人 | その他 | 0人 |
| 助産師 | 34人 | 0人 | 34人 | 義肢装具士 | 0人 | あん摩マッサージ指圧師 | 0人 |
| 看護師 | 657人 | 35人 | 680.3人 | 臨床工学技士 | 6人 | 医療社会事業従事者 | 3人 |
| 准看護師 | 0人 | 0人 | 0人 | 栄養士 | 0人 | その他の技術員 | 25人 |
| 歯科衛生士 | 0人 | 0人 | 0人 | 歯科技工士 | 1人 | 事務職員 | 135人 |
| 管理栄養士 | 4人 | 0人 | 4人 | 診療放射線技師 | 36人 | その他の職員 | 12人 |

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

| | 歯科等以外 | 歯科等 | 合計 |
|--------------|-----------|--------|-----------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 675.7 人 | 21.1 人 | 696.8 人 |
| 1日当たり平均外来患者数 | 1,225.8 人 | 76.7 人 | 1,302.5 人 |
| 1日当たり平均調剤数 | 994.18 剤 | | |

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|--|------|--------|
| 高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術 | 有・無 | 人 |
| 膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 人工括約筋を用いた尿失禁の治療 | 有・無 | 人 |
| 光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断 | 有・無 | 人 |
| SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|---|------|--------|
| 乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。) | 有・無 | 3人 |
| 難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学・外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 31P—磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 神経芽腫のRNA診断 | 有・無 | 人 |
| 硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体室素処理骨移植 | 有・無 | 人 |
| 膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、膵動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。) | 有・無 | 人 |
| 低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析 | 有・無 | 人 |
| Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 家族性アルツハイマー病の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| 膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療 | 有・無 | 人 |
| 泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|--|-------------------|--------|
| HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断 | 有 [○] ・無 | 13人 |
| 末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオキシピタルホーン症候群に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。) | 有 [○] ・無 | 9人 |
| CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラレーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。) | 有・無 | 人 |
| 膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。) | 有 [○] ・無 | 4人 |
| 色素性乾皮症に係る遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| 先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| 歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。) | 有・無 | 人 |
| セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。) | 有・無 | 人 |
| 腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。) | 有・無 | 人 |
| 骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。) | 有・無 | 人 |
| 肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。) | 有・無 | 人 |
| 樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。) | 有・無 | 人 |

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|---|------|--------|
| 自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。) | ⑦; 無 | 0人 |
| 内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。) | 有・無 | 人 |
| フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類 I b期までの子宮体がんに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断 | 有・無 | 人 |
| RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 光トポグラフィ検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。) | 有・無 | 人 |
| 大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |

| 先進医療の種類 | 届出受理 | 取扱い患者数 |
|---|------|--------|
| 内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断 | 有・無 | 人 |
| 腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索 | ①有・無 | 29人 |
| カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。) | ①有・無 | 14人 |
| 腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。) | ①有・無 | 2人 |
| 内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索 | 有・無 | 人 |
| 副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。) | 有・無 | 人 |
| 根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。) | 有・無 | 人 |
| 内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。) | 有・無 | 人 |

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

| | | |
|---------------------------|------|------|
| 乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索 | ①有・無 | 159人 |
|---------------------------|------|------|

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

| 疾患名 | 取扱い患者数 | 疾患名 | 取扱い患者数 |
|------------------|--------|---------------------------|--------|
| ・ベーチェット病 | 53人 | ・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症) | 52人 |
| ・多発性硬化症 | 77人 | ・ウェゲナー肉芽腫症 | 7人 |
| ・重症筋無力症 | 140人 | ・特発性拡張型(うっ血型)心筋症 | 58人 |
| ・全身性エリテマトーデス | 225人 | ・多系統萎縮症 | 14人 |
| ・スモン | 8人 | ・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型) | 0人 |
| ・再生不良性貧血 | 46人 | ・膿疱性乾癬 | 1人 |
| ・サルコイドーシス | 79人 | ・広範脊柱管狭窄症 | 5人 |
| ・筋萎縮性側索硬化症 | 31人 | ・原発性胆汁性肝硬変 | 46人 |
| ・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎 | 290人 | ・重症急性膵炎 | 6人 |
| ・特発性血小板減少性紫斑病 | 66人 | ・特発性大腿骨頭壊死症 | 12人 |
| ・結節性動脈周囲炎 | 62人 | ・混合性結合組織病 | 39人 |
| ・潰瘍性大腸炎 | 75人 | ・原発性免疫不全症候群 | 1人 |
| ・大動脈炎症候群 | 22人 | ・特発性間質性肺炎 | 20人 |
| ・ピュルガー病 | 6人 | ・網膜色素変性症 | 17人 |
| ・天疱瘡 | 3人 | ・プリオン病 | 2人 |
| ・脊髄小脳変性症 | 80人 | ・原発性肺高血圧症 | 6人 |
| ・クローン病 | 44人 | ・神経線維腫症 | 29人 |
| ・難治性の肝炎のうち劇症肝炎 | 17人 | ・亜急性硬化性全脳炎 | 3人 |
| ・悪性関節リウマチ | 5人 | ・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群 | 0人 |
| ・パーキンソン病関連疾患 | 174人 | ・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型) | 2人 |
| ・アミロイドーシス | 105人 | ・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む | 4人 |
| ・後縦靭帯骨化症 | 22人 | ・副腎白質ジストロフィー | 1人 |
| ・ハンチントン病 | 0人 | | |

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

| | | | |
|-------------------------------------|--|------|------------|
| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況 | ① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 | | |
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度 | 22回 | | |
| 剖検の状況 | 剖検症例数 | 21 例 | 剖検率 11.0 % |

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部署 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|---|----------|--------|------------|-------------------------|
| 肝再生治療への応用を目指した細胞周期関連分子の機能制御の基礎的検討 | 永濱 裕康 | 消化器内科 | 1,500,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| 疾患プロテオミクスを用いた肝癌におけるアポトーシス抵抗性の分子基盤の解明 | 佐々木 裕 | 消化器内科 | 2,900,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 骨髓不全症候群における自己免疫性造血障害の新規指標NKG2Dリガンドの臨床的意義 | 川口 辰哉 | 血液内科 | 1,500,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| HIV増殖に必須の酵素の形成ダイナミクス研究とその阻止剤の構造的デザイン | 満屋 裕明 | 血液内科 | 6,300,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 感染細胞内でHIVコンポーネントの自壊をもたらす機序の解明とその誘導剤の研究 | 満屋 裕明 | 血液内科 | 3,200,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| HIVプロテアーゼの2量体形成の動態の解析とHIVプロテアーゼ2量体化阻害剤の研究・開発 | 満屋 裕明 | 血液内科 | 24,000,000 | 補 厚生労働科学研究費補助金 |
| 急性骨髄性白血病の遺伝子変異による予後予測 | 麻生 範雄 | 血液内科 | 1,500,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| PU. 1により誘導される骨髓腫細胞の増殖停止及び細胞死の機序の解明と治療への応用 | 奥野 豊 | 血液内科 | 1,500,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| プロスタグランシン合成酵素およびインヒビターの網羅的解析による血圧調節機構の解明 | 北村 健一郎 | 腎臓内科 | 1,700,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| アルドステロンの腎障害におけるプロスタグリンの関与とその阻害薬の腎保護作用の研究 | 安達 政隆 | 腎臓内科 | 1,500,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| プロテアーゼネクシン1による血圧・ナトリウム代謝制御の分子基盤の解明および創薬 | 實吉 拓 | 腎臓内科 | 2,200,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 腎臓におけるV1a受容体を介したバゾプレッシン作用制御機序の解明と利尿薬の開発 | 中山 裕史 | 腎臓内科 | 1,700,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| プロスタグリンによるアルドステロン産生誘導の分子機構の解明と創薬基盤の開発 | 富田 公夫 | 腎臓内科 | 4,600,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 虚血性心疾患における心電図同期SPECT(QGS)検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究-2 2型糖尿病患者における無症候性心筋虚血の評価 | 水流 添 覚 | 代謝内科 | 10,500 | 委 (財)循環器病研究振興財団 |
| インスリン抵抗性発症における白色脂肪および褐色脂肪組織内活性酸素種の意義の解明 | 水流 添 覚 | 代謝内科 | 1,700,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| 「徳島 健康・医療クラスター形成事業」の一部 ～糖尿病新規血清マーカーの臨床応用の確立～ | 荒木 栄一 | 代謝内科 | 1,100,000 | 委 (財)とくしま産業振興機構 |
| 分子シャペロンを標的とした細胞内ストレス制御による新規糖尿病治療法の開発 | 荒木 栄一 | 代謝内科 | 6,000,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| メタボリックシンドロームの動脈硬化症早期発見と治療を目的とした網膜病変解析の有効性に関する前向き調査 | 荒木 栄一 | 代謝内科 | 10,000,000 | 補 厚生労働科学研究費補助金 |
| インクレチンシグナルによる膵β細胞障害阻止と膵β細胞再生の試み | 宮村 信博 | 代謝内科 | 1,300,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| 高濃度超速効型インスリンを用いたCLOSED-LOOP皮下注入アルゴリズムの開発 | 下田 誠也 | 代謝内科 | 1,500,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| インスリン作用モデル解析による新たな正常血糖域クランプ法の開発 | 古川 昇 | 代謝内科 | 800,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| mtROSの血管内皮細胞-Mφ相互作用への関与とその制御による糖尿病性腎症の抑制 | 西川 武志 | 代謝内科 | 1,300,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| インテリジェントHDSの生体内投与至適条件の確立および超音波の生体に対する安全性の確認 | 海北 幸一 | 循環器内科 | 3,000,000 | 委 (独)医薬基盤研究所 |
| 脆弱動脈硬化病変におけるメタボリックシンドロームの関与と血管内皮細胞障害の検討 | 杉山 正悟 | 循環器内科 | 1,600,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 難治性冠動脈狭窄症例に対する新たな治療戦略の確立と一酸化窒素誘導薬の開発 | 中山 雅文 | 循環器内科 | 1,500,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 心臓からのステロイドホルモン産生とその心臓への作用と作用機序についての研究 | 山室 恵 | 循環器内科 | 1,300,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 骨格筋由来分泌因子による慢性心不全の新しい治療戦略 | 泉家 康宏 | 循環器内科 | 1,340,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| ヘルパー依存アデノ及び改変レンチウイルスを用いた筋ジストロフィーの遺伝子治療 | 内野 誠 | 神経内科 | 2,500,000 | 委 国立精神・神経センター |
| 治験の実施に関する研究「酢酸リユープロレリン」 | 内野 誠 | 神経内科 | 3,500,000 | 補 厚生労働科学研究費補助金 |
| ヘルパー依存アデノ及び改変レンチウイルスを用いた筋ジストロフィーの遺伝子治療 | 内野 誠 | 神経内科 | 1,300,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 幹細胞による神経筋疾患の遺伝子治療 | 木村 円 | 神経内科 | 1,400,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| 肝臓組織移植による虚血心筋再生療法の研究 (継続課題) | 川筋 道雄(緑) | 心臓血管外科 | 850,000 | 補 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |

小計

32

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部局 | 金額 | 補助元又は委託元 | |
|---|--------|----------|------------|----------|-----------------------|
| 肝臓組織移植による虚血心筋再生療法の研究 | 川筋 道雄 | 心臓血管外科 | 900,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| コリンキナーゼの肺腺癌における発現および活性とアセテートPETとの関連性の検討 | 森 毅 | 呼吸器外科 | 1,900,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| 肺腺癌のPET診断のための18F-Acetateの合成精製と基礎的研究 | 野守 裕明 | 呼吸器外科 | 5,000,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| StageⅢ結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1療法の第Ⅲ相比較臨床試験および遺伝子発現に基づく効果予測因子の探索的研究 | 馬場 秀夫 | 消化器外科 | 1,023,750 | 委 | (財)先端医療振興財団 |
| 術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比較臨床試験(治療切除直腸癌に対するUFT療法とTS-1療法の比較検討) | 馬場 秀夫 | 消化器外科 | 518,700 | 委 | (財)がん集学的治療研究財団 |
| 「StageⅡ大腸癌に対する術後補助化学療法に関する研究」第Ⅲ相臨床試験 | 馬場 秀夫 | 消化器外科 | 682,500 | 委 | (財)先端医療振興財団 |
| StageⅡ大腸癌における分子生物・病理学的マーカーによる再発high-risk群とフッ化ピリミジン感受性群の選択に関する研究 | 馬場 秀夫 | 消化器外科 | 341,250 | 委 | (財)先端医療振興財団 |
| miRNAをターゲットとした消化器癌に対する新たな治療戦略の開発 | 馬場 秀夫 | 消化器外科 | 4,800,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 血中遊離癌細胞中のcancer stem cellの同定と機能解析 | 林 尚子 | 消化器外科 | 1,900,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| がん幹細胞理論に基づいたがん根治療法への展開は可能か? | 高森 啓史 | 消化器外科 | 1,100,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 転写モジュレーターによる乳癌内分泌療法の効果増強に関する研究 | 岩瀬 弘敏 | 乳腺・内分泌外科 | 1,800,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| FoxP3遺伝子モニタリングによる、肝移植後の新たな免疫抑制療法の開拓 | 阿曾沼 克弘 | 小児外科 | 1,200,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 腎細胞癌のコレステロール蓄積機構の解明 | 松本 賢士 | 泌尿器科 | 500,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 人絨毛ゴナドトロピンベータサブユニット産生能に着目した卵巣癌治療戦略に向けた検討 | 田代 浩徳 | 婦人科 | 800,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| 子宮内膜間質細胞と共培養した不死化卵巣表層上皮細胞の細胞形質の変化に関する研究 | 大竹 秀幸 | 婦人科 | 700,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| 染色体安定性不死化ヒト卵巣表層上皮細胞を用いた卵巣癌実験モデルの作成 | 片淵 秀隆 | 婦人科 | 2,400,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 卵巣癌発症における腹腔マクロファージ由来サイトカインの影響 | 宮原 陽 | 婦人科 | 500,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 先天性無痛症の分子遺伝学的基盤 | 犬童 康弘 | 小児科 | 1,100,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| 小児期メタボリック症候群の肝・膵細胞におけるカルシウムシグナルの役割 | 中村 公俊 | 小児科 | 1,400,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| アクティグラフを用いた生体リズムの詳細な分析 他 | 友田 明美 | 発達小児科 | 9,100,000 | 委 | (独)科学技術振興機構 |
| 児童虐待の脳発達におよぼす影響と敏感期に関する研究 | 友田 明美 | 発達小児科 | 1,000,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| エクソスキップを利用した筋ジストロフィーの臨床治療に向けて適応患者のスクリーン法の確立 | 木村 重美 | 発達小児科 | 2,500,000 | 委 | 国立精神・神経センター |
| ジストロフィン遺伝子異常による拡張型心筋症の治療へのアプローチ | 木村 重美 | 発達小児科 | 1,000,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 通電処理による牛乳アレルギー活性低減化に関連する蛋白高次構造の研究 | 松本 知明 | 発達小児科 | 800,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 糖尿病におけるAGEs蓄積が軟骨変性に及ぼす影響に関する研究 | 廣瀬 草 | 整形外科 | 700,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 変性関節軟骨細胞における小胞体ストレスの発生機序とその病態生理に関する研究 | 水田 博志 | 整形外科 | 1,900,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 強皮症線維芽細胞を用いた線維化の機序の解明 | 伊 浩信 | 皮膚科 | 1,300,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 医歯薬分野に関する学術動向の調査・研究 | 谷原 秀信 | 眼科 | 3,500,000 | 委 | (独)日本学術振興会 |
| 遠隔胞治療の薬物制御を応用した新しい緑内障手術療法に関する研究 | 谷原 秀信 | 眼科 | 5,200,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 緑内障神経症における軸索輸送障害のリアルタイムイメージング | 谷原 秀信 | 眼科 | 1,600,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 緑内障、あなたの目は大丈夫ですか? | 谷原 秀信 | 眼科 | 700,000 | 補 | 厚生労働科学研究費補助金 |
| ミッドカインとヘパリン結合性生理活性因子群による眼疾患の生理的・病的意義の解析 | 行徳 雄二 | 眼科 | 1,600,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| ヘパリン硫酸による神経細胞の分化制御機構の解明と緑内障の新しい病態概念の確立 | 稲谷 大 | 眼科 | 19,000,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| 加齢黄斑変性症における補体制御因子のレドックス制御 | 猪俣 泰也 | 眼科 | 1,900,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部局 | 金額 | 補助元又は委託元 | |
|---|--------|-------------|-----------|----------|-----------------------|
| 網膜幹細胞の維持に関わる細胞間相互作用とその分子シグナルの解明 | 福島 美紀子 | 眼科 | 1,600,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助化学療法の見直し-多施設無作為化比較試験- | 藪田 涼生 | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | 682,500 | 委 | 財団法人先端医療振興財団 |
| 蝸牛支持細胞の細胞周期再活性化による有毛細胞の再生 | 藪田 涼生 | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | 900,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 骨形成因子阻害剤の投与による髄膜炎後蝸牛骨化の予防 | 増田 聖子 | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | 1,600,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| 非ステロイド系消炎剤によるCD44を介した頭頸部癌遠隔転移抑制効果の基礎的研究 | 村上 大造 | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | 600,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| 反回神経脱神経後の神経再支配に関する基礎的研究 | 湯本 英二 | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | 1,400,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 炎症性発声障害モデル動物を用いた病態解明と新たな治療法の確立 | 舘岐 徹治 | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | 1,300,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 口腔癌のエピジェネティクス解析-DNAメチル化異常の解析と診断、治療への応用- | 篠原 正徳 | 歯科口腔外科 | 6,200,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 分離唾液腺幹細胞の再構築による唾液腺再生療法の開発 | 平木 昭光 | 歯科口腔外科 | 600,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 7テスラ高磁場C-13MR画像の開発と動物実験による基礎的研究 | 平井 俊範 | 画像診断・治療科 | 1,000,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 頭頸部皮膚悪性疾患における三次元SPECT・CT融合画像の研究 | 白石 慎哉 | 画像診断・治療科 | 600,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 認知症と骨粗鬆症のための臨床データベース構築の応用と治療法の標準化に関する研究 | 池田 学 | 神経精神科 | 1,400,000 | 委 | 国立長寿医療センター |
| 前頭側頭型認知症における常同行動の神経基盤に関する研究 | 池田 学 | 神経精神科 | 2,200,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| レビー小体型認知症における誤認妄想の神経基盤の研究 | 橋本 術 | 神経精神科 | 1,800,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| 中枢神経系胚細胞腫における遺伝生物学的解析に基づく治療抵抗性のメカニズムの解明 | 中村 英夫 | 脳神経外科 | 1,100,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| ブロスタグランジンEPIレセプターをターゲットにした脳梗塞治療の研究 | 河野 隆幸 | 脳神経外科 | 1,310,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| 脳原発性リンパ腫の予後規定分子の同定と発生母地解明に基づく新規治療の考案 | 牧野 敬史 | 脳神経外科 | 1,200,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| ストレス惹起インスリン抵抗性による血管内皮障害への新しい治療戦略 | 杉田 道子 | 麻酔科 | 1,800,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| 迷走神経活動電位の低侵襲的計測法の開発 | 田口 裕之 | 麻酔科 | 600,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| N-acetyl-aspartyl-glutamateの生体内での役割 | 山本 達郎 | 麻酔科 | 2,500,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 小胞体quality control機構と麻薬退薬症状 | 山本 達郎 | 麻酔科 | 1,400,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 腎特異的なストレス応答機構と異物解毒システムの機能連関解析に基づく腎障害防御戦略 | 藤藤 秀之 | 薬剤部 | 2,900,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| 薬物動態制御因子群の遺伝子解析に基づく抗癌薬個別投与設計法の基盤開発 | 濱田 哲福 | 薬剤部 | 1,500,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| 新たなアプローチによるアミロイド沈着機構の解明と原因蛋白質の検出法に関する研究 | 植田 光晴 | 中央検査部 | 1,350,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| 難治性疾患の病態に深く関与するCYLDの新たな病態制御メカニズムの解明 | 城野 博史 | 中央検査部 | 1,340,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費 |
| SPARCを標的分子としたスキルス胃癌に対する診断、治療法の開発 | 生田 義明 | 中央手術部 | 1,700,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| PET-CT融合画像を用いた放射線治療計画の開発 | 村上 龍次 | 中央放射線部 | 600,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| 多標的性miRNAのphenotypeを利用した炎症及び癌に対する治療戦略 | 蒲原 英伸 | 集中治療部 | 1,500,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| 大血管症と細小血管症・微小血管障害に対するアディポネクチンの有効性に関する研究 | 小島 淳 | 救急外来 | 400,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| Acetate-PETによる肺腺癌と浸潤性高分化腺癌の鑑別のための基礎的研究 | 猪山 賢一 | 病理部 | 1,400,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| 医療従事者を対象とした、さまざまなシミュレーション教育プログラムについての研究 | 松井 邦彦 | 総合臨床研修センター | 1,500,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |
| 難知性不整脈に対する研究 | 山部 浩茂 | 不整脈先端医療寄附講座 | 1,000,000 | 委 | 五ヶ瀬町国民健康保険病院 |
| 体性幹細胞を用いた糖尿病治療 | 松本 志郎 | 新生児学寄附講座 | 1,200,000 | 補 | 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 |

合計

高度の医療技術の開発及び評価の実績

● 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|------------------------------|---|---------------|------------|
| J Thorac Oncol. | Combined evaluation of postoperative serum levels of carcinoembryonic antigen less than or equal to 2.5 ng/ml and absence of vascular invasion may predict no recurrence of stage I adenocarcinoma lung cancer. | Kashiwabara K | 呼吸器内科 |
| Clin. Exp. Immunol | Human bronchial intraepithelial T cells produce interferon- γ and stimulate epithelial cells. | Hirosako S | 呼吸器内科 |
| J Virol. | Non-cleavage Site Gag Mutations in Amprenavir-resistant HIV-1 Predispose HIV-1 to Rapid Acquisition of Amprenavir Resistance But Delays Development of Resistance to Other Protease Inhibitors. | Mitsuya H | 血液内科・膠原病内科 |
| Antimicrob Agents Chemother. | GRL-02031: A Novel Nonpeptidic Protease Inhibitor (PI) Containing A Stereochemically Defined Fused Cyclopentanyltetrahydrofuran (Cp-THF) Potent Against Multi-PI-Resistant HIV-1 In Vitro. | Mitsuya H | 血液内科・膠原病内科 |
| Amyloid | Adsorption of Bence-Jones protein to polymethyl-methacrylate membrane in primary amyloidosis. | Hata H | 血液内科・膠原病内科 |
| Amyloid | Excessive fibrinolysis in AL-amyloidosis is induced by urokinase-type plasminogen activator from bone marrow plasma cells. | Hata H | 血液内科・膠原病内科 |
| Int J Hematology | Relationship between an effective dose of imatinib, body surface area, and trough drug levels in patients with chronic myeloid leukemia. | Kawaguchi T | 血液内科・膠原病内科 |
| Leukemia Res | Treatment of therapy-related acute myeloid leukemia occurring in elderly non-Hodgkin lymphoma patients with low-dose cytarabine, aclarubicin and granulocyte colony-stimulating factor. | Asou N | 血液内科・膠原病内科 |
| Br J Haematol. | Age-associated difference in gene expression of pediatric acute myelomonocytic lineage leukemia (FAB M4 and M5 subtypes) and its correlation with prognosis. | Asou N | 血液内科・膠原病内科 |
| Int J Hematology | Micafungin-induced immune hemolysis attacks. | Asou N | 血液内科・膠原病内科 |
| Haematologica | A JAK2-V617F activating mutation in addition to KIT and FLT3 mutations is associated with clinical outcome in patients with t(8;21)(q22;q22) acute myeloid leukemia. | Asou N | 血液内科・膠原病内科 |
| Leukemia Res. | Allogeneic bone marrow transplantation after l-asparaginase-induced pancreatitis in a patient with acute lymphoblastic leukemia. | Asou N | 血液内科・膠原病内科 |
| Pharmaceutical Res. | Constitutive overexpression of P-glycoprotein, rather than breast cancer resistance protein or organic cation transporter 1 contributes to evolution of imatinib-resistance in K562 cells. | Kawaguchi T | 血液内科・膠原病内科 |
| Anticancer Res. | Induction of necrosis in human myeloma cells by kigamicin. | Hata H | 血液内科・膠原病内科 |
| Int J Oncol | Induction of cell cycle arrest and apoptosis in myeloma cells by cepharanthine, a biscoclaurine alkaloid. | Hata H | 血液内科・膠原病内科 |
| Leukemia Res. | Treatment of therapy-related acute myeloid leukemia occurring in elderly non-Hdgkin lymphoma patients with low-dose cytarabine, aclarubicin and granulocyte colony-stimulating factor. | Asou N | 血液内科・膠原病内科 |
| Org Lett. | Design and Synthesis of Stereochemically Defined Novel Spirocyclic P2-Ligands for HIV-1 Protease Inhibitors. | Mitsuya H | 血液内科・膠原病内科 |

小計

17

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|------------------------------|---|----------------|------------|
| Org Biomol Chem. | Potent HIV-1 protease inhibitors incorporating meso-bicyclic urethanes as P2-ligands: structure-based design, synthesis, biological evaluation and protein-ligand X-ray studies. | Mitsuya H | 血液内科・膠原病内科 |
| J Med Chem. | Flexible cyclic ethers/ polyethers as novel P2-ligands for HIV-1 protease inhibitors: design, synthesis, biological evaluation, and protein-ligand X-ray studies. | Mitsuya H | 血液内科・膠原病内科 |
| J Mol Biol. | Involvement of the second extracellular loop and transmembrane residues of CCR5 in inhibitor binding and HIV-1 fusion: insights into the mechanism of allosteric inhibition. | Mitsuya H | 血液内科・膠原病内科 |
| Int J Biochem Cell Biol. | 2'-deoxy-4'- C-ethynyl-2-halo-adenosines active against drug-resistant human immunodeficiency virus type 1 variants. | Mitsuya H | 血液内科・膠原病内科 |
| Antimicrob Agents Chemother. | Potent synergistic anti-human immunodeficiency virus (HIV) effects using combinations of the CCR5 inhibitor aplaviroc with other anti-HIV drugs. | Mitsuya H | 血液内科・膠原病内科 |
| Adv Pharmacol. | Development of protease inhibitors and the fight with drug-resistant HIV-1 variants. | Mitsuya H | 血液内科・膠原病内科 |
| Acc Chem Res. | Design of HIV protease inhibitors targeting protein backbone: an effective strategy for combating drug resistance. | Mitsuya H | 血液内科・膠原病内科 |
| J. Hypertens. | Aberrant ENaC activation in Dahl salt-sensitive rats | Kakizoe Y | 腎臓内科 |
| J. Hypertens. | Camostat mesilate inhibits prostatic activity, and reduces blood pressure and renal injury in salt-sensitive hypertension | Maekawa A | 腎臓内科 |
| Hypertens. Res. | Urinary prostatic activity in humans: relationships among prostatic activity, aldosterone and epithelial sodium channel activity | Koda A | 腎臓内科 |
| J. Biol. Chem. | Plasma urate level is directly regulated by a voltage-driven urate efflux transporter URATV1 (SLC2A9) in humans | Anzai N | 腎臓内科 |
| Am. J. Physiol. | Regulation of V2R transcription by hypertonicity and V1aR-V2R signal interaction | Iwao Y | 腎臓内科 |
| Am. J. Physiol. | CD36 is one of important receptors promoting renal tubular injury by advanced oxidation protein products | Izumi Y | 腎臓内科 |
| Am. J. Physiol. | Vasopressin regulates the renin-angiotensin-aldosterone system via V1a receptors in macula densa cells | Aoyagi T | 腎臓内科 |
| Drug Metab. Dispos. | Altered pharmacokinetics of cationic drugs caused by down-regulation of renal rat organic cation transporter 2 (Slc22a2) and rat multidrug and toxin extrusion 1 (Slc47a1) in ischemia/reperfusion-induced acute kidney injury. | Matsuzaki T | 腎臓内科 |
| Clin. Biochem. | Effect of intravenous iron administration frequency on oxidative stress in chronic hemodialysis patients | Kitamura, K | 腎臓内科 |
| Hypertens. Res. | Long-term plasma levels and dose modulation of alacepril in patients with chronic renal failure | Nonoguchi, H | 腎臓内科 |
| Clin. Nephrol. | Long-term observation of renal function on combination therapy with prostaglandin and angiotensin-converting enzyme inhibitor for chronic kidney disease | Nakayama, Y | 腎臓内科 |
| Biochem Biophys Res Commun. | Angptl 4 deficiency improves lipid metabolism, suppresses foam cell formation and protects against atherosclerosis. | Adachi H et al | 代謝・内分泌内科 |

小計

36

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|------------------|----------|
| Biochem Biophys Res Commun. | TZDs reduce mitochondrial ROS production and enhance mitochondrial biogenesis. | Fujisawa K et al | 代謝・内分泌内科 |
| Biochem Biophys Res Commun. | Rottlerin activates AMPK possibly through LKB1 in vascular cells and tissues. | Kojima K et al | 代謝・内分泌内科 |
| J Biol Chem. | Oxidized low density lipoprotein activates peroxisome proliferator-activated receptor-alpha (PPARalpha) and PPARgamma through MAPK-dependent COX-2 expression in macrophages. | Taketa K et al | 代謝・内分泌内科 |
| J Pharmacol Sci. | Mild electrical stimulation increases ubiquitinated proteins and Hsp72 in A549 cells via attenuation of proteasomal degradation. | Morino S et al | 代謝・内分泌内科 |
| PLoS One. | Mild electrical stimulation with heat shock ameliorates insulin resistance via enhanced insulin signaling. | Morino S et al | 代謝・内分泌内科 |
| Circulation Journal | Effects of metabolic risk factors on production of plasminogen activator inhibitor-1 and adiponectin by adipocytes. | 坂本憲治 | 循環器内科 |
| Journal of Molecular and Cellular Cardiology | Pioglitazone, a peroxisome proliferator-activated receptor-gamma agonist, attenuates myocardial ischemia-reperfusion injury in mice with metabolic disorders. | 本多 剛 | 循環器内科 |
| Heart Vessels | The synergistic combined effect of anemia with high plasma levels of B-type natriuretic peptide significantly predicts an enhanced risk for major adverse cardiac events. | 上野博史 | 循環器内科 |
| Circulation Journal | Aldosterone, but not angiotensin II, reduces angiotensin converting enzyme 2 gene expression levels in cultured neonatal rat cardiomyocytes. | 山室 恵 | 循環器内科 |
| Circulation Journal | Benefit of adding pioglitazone to successful statin therapy in nondiabetic patients with coronary artery disease. | 菅村公一 | 循環器内科 |
| the Journal of the American Medical Association | Low-Dose Aspirin for Primary Prevention of Atherosclerotic Events in Patients With Type 2 Diabetes. | 小川久雄 | 循環器内科 |
| Intern Med | Initial and mid-term outcomes of pulse infusion thrombolysis using a unique pump system and stent placement for deep vein thrombosis. | 掃本誠治 | 循環器内科 |
| Intern Med | Atrioventricular nodal ablation and biventricular pacing therapy with coronary venoplasty for severe heart failure with drug refractory atrial tachycardia. | 掃本誠治 | 循環器内科 |
| Intern Med | Catheter ablation of a polymorphic ventricular tachycardia inducing monofocal premature ventricular complex. | 上村孝史 | 循環器内科 |
| Eur J Heart Fail | A Q312X mutation in the hemojuvelin gene is associated with cardiomyopathy due to juvenile haemochromatosis. | 永吉靖央 | 循環器内科 |
| Int J Cardiol | Clinical factors affecting serum potassium concentration in cardio-renal decompensation syndrome. | 上野博史 | 循環器内科 |
| Int J Cardiol | Periodontal status and Prevotella intermedia antibody in acute coronary syndrome. | 副島弘文 | 循環器内科 |
| Thromb Res | Changes in plasma von Willebrand factor and ADAMTS13 levels associated with left atrial remodeling in atrial fibrillation. | 上村孝史 | 循環器内科 |
| Circulation | Activated endocannabinoid system in coronary artery disease and antiinflammatory effects of cannabinoid 1 receptor blockade on macrophages. | 菅村公一 | 循環器内科 |

小計

55

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|----------|--------|
| Atherosclerosis | A macrophage scavenger receptor gene expression levels in peripheral blood mononuclear cells specifically increase in patients with acute coronary syndrome. | 中山雅文 | 循環器内科 |
| Heart Vessels | Significant association between score of periodontal disease and coronary artery disease. | 小江陽子 | 循環器内科 |
| Neurology 70(2): 123-8 | Effect of liver transplantation on transthyretin Tyr114Cys-related cerebral amyloid angiopathy. | 山下太郎ほか | 神経内科 |
| Mol Ther 16(5): 825-831 | Transduction of full-length dystrophin to multiple skeletal muscles improves motor performance and lifespan in utrophin/dystrophin double knockout mice. | 前田 寧ほか | 神経内科 |
| Neuromuscul disord 18 (4): 342-348 | Mdx respiratory impairment following fibrosis of the diaphragm. | 木村 円ほか | 神経内科 |
| Neuromuscul Disord 18: 382-388 | Regions downstream from the WW domain of dystrophin are important for binding to postsynaptic densities in the brain. | 内野 誠ほか | 神経内科 |
| Inter Med 47:2133-2137 | Evaluation of myocardial changes in familial amyloid polyneuropathy after liver transplantation. | 山下太郎ほか | 神経内科 |
| Hum Mol Genet 17:2507-2517 | Cell-lineage regulated myogenesis for dystrophin replacement: a novel therapeutic approach for treatment of muscular dystrophy. | 木村 円ほか | 神経内科 |
| Circ.J. | Therapeutic angiogenesis with autologous hepatic tissue implantation and omental wrapping | Shao Z-Q | 心臓血管外科 |
| Annals of Thoracic Surgery | Novel germline mutation: EGFR V843I in patient with multiple lung adenocarcinomas and family members with lung cancer. | Nomori H | 呼吸器外科 |
| Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery | Diffusion-weighted magnetic resonance imaging can be used in place of positron emission tomography for N staging of non-small cell lung cancer with fewer false-positive results. | Nomori H | 呼吸器外科 |
| Journal of Thoracic Oncology | Diffusion-weighted magnetic resonance imaging for diagnosing malignant pulmonary nodules/masses: comparison with positron emission tomography. | Mori T | 呼吸器外科 |
| American Journal of Roentgenology | Ground-glass opacities on thin-section helical CT: differentiation between bronchioloalveolar carcinoma and atypical adenomatous hyperplasia | Nomori H | 呼吸器外科 |
| Journal of Thoracic Oncology | Epidermal growth factor receptor mutations in multicentric lung adenocarcinomas and atypical adenomatous hyperplasias. | Nomori H | 呼吸器外科 |
| International Journal of Cancer | HLA-A2-restricted CTL epitopes of a novel lung cancer-associated cancer testis antigen, cell division cycle associated 1, can induce tumor-reactive CTL. | Nomori H | 呼吸器外科 |
| Journal of Thoracic Oncology | ¹¹ C-Acetate can be used in place of ¹⁸ F-fluorodeoxyglucose for positron emission tomography imaging of non-small cell lung cancer with higher sensitivity for well-differentiated adenocarcinoma. | Nomori H | 呼吸器外科 |
| Academic Radiology | Marking of small pulmonary nodules before thoroscopic resection: injection of lipiodol under CT-fluoroscopic guidance. | Nomori H | 呼吸器外科 |
| European Journal of Cardio-Thoracic Surgery | Prediction of pulmonary function after lung lobectomy by subsegments counting, computed tomography, single photon emission computed tomography and computed tomography: a comparative study. | Nomori H | 呼吸器外科 |
| Annals of Thoracic Surgery | Evaluation of semiquantitative assessments of fluorodeoxyglucose uptake on positron emission tomography scans for the diagnosis of pulmonary malignancies 1 to 3 cm in size. | Nomori H | 呼吸器外科 |

小計

74

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|------------------------------------|---|-------------|-------|
| Annals of Thoracic Surgery | Difference of sentinel lymph node identification between tin colloid and phytate in patients with non-small cell lung cancer. | Nomori H | 呼吸器外科 |
| Surg Today | Repeated colon penetration by an ingested fish bone: Report of a case. | Okuma T | 消化器外科 |
| Genes to Cells | Mass spectrometric analysis of microtubule co-sedimented proteins from rat brain. | Sakamoto T | 消化器外科 |
| Esophagus | Estimation of physiologic ability and surgical stress(E-PASS) in patients with esophageal squamous cell carcinoma undergoing resection. | Motomura Y | 消化器外科 |
| Br J Cancer | Laminin-332 promotes the invasion of oesophageal squamous cell carcinoma via the PI3K activation. | Baba Y | 消化器外科 |
| Surg Today | Risk Factors Associated with Surgical Site Infection in Upper and Lower Gastrointestinal Surgery | Watanabe A | 消化器外科 |
| Hepato-Gastroenterology | Detection of circulating gastric cancer cells in peripheral blood using real time quantitative RT-PCR | Koga T | 消化器外科 |
| Br J Surg | Risc factors of complications after partial splenic embolization for liver cirrhosis'. | Hayashi H | 消化器外科 |
| Surg Laparosc Endosc Percutan Tech | Radiofrequency ablation with hand assisted laparoscopic surgery for the treatment of hepatocellular carcinoma in the caudate lobe. | Ishiko T | 消化器外科 |
| Surg Today | Complete remission of pancreatic cancer after multiple resections of locally pancreatic recurrent sites and liver metastasis. | Ibusuki M | 消化器外科 |
| Gastric Cancer | Multiple and mtachronous esophageal intramural metastases from a gastric adenocarcinoma: Report of a case. | Ikeda O | 消化器外科 |
| J Cell Biol | Involvement of autophagy in trypsinogen activation within the pancreatic acinar cells. | Hashimoto D | 消化器外科 |
| Genes to Cells | The expression patterns of Epiplakin 1 in pancreas, pancreatic cancer and regenerating pancreas | Yoshida T | 消化器外科 |
| Pancreas | Platelet count as a sensitive and convenient parameter for assessing the prognosis in acute pancreatitis. | Fujimura Y | 消化器外科 |
| Am J Surg | Percutaneous trans fistulous pancreatic duct drainage and interventional pancreatojejunostomy as a treatment option for intractable pancreatic fistula. | Hirota M | 消化器外科 |
| Histochem Cell Biol | Expression pattern of serine protease inhibitor Kazal type 3 (Spink3) during mouse embryonic development. | Wang J | 消化器外科 |
| Gastric Cancer | Tornado Roux-en-Y" anastomosis in laparoscopy-assisted distal gastrectomy. | Toyama E | 消化器外科 |
| J immunol Sep | Production of C5a by ASP, a serine protease released from Aeromonas sobria | Nitta H | 消化器外科 |
| Exp Clin Transplant | Age and Donor Safety in Living-Donor Liver Transplant in 110 Consecutive Cases at 1 Institute. | Ishiko T | 消化器外科 |

小計

93

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|-------------------------------|--|-------------|-------|
| Esophagus | A case of thoracoscopically resected benign esophageal schwannoma with high uptake on FDG-PET. | Toyama E | 消化器外科 |
| Cancer Sci | Detection of colorectal cancer cells from feces using quantitative real-time RT-PCR for colorectal cancer diagnosis. | Koga Y | 消化器外科 |
| Clin Cancer Res | Identification of a novel tumor-associated antigen, Cadherin 3/P-cadherin, as a possible target for immunotherapy of pancreatic, gastric and colorectal cancers. | Imai K | 消化器外科 |
| HBP Surg | Intrahepatic dissemination of hepatocellular carcinoma after local ablation therapy. | Masuda T | 消化器外科 |
| J Hepatobiliary Pancreat Surg | Long-term Outcomes of extended radical resection combined with intraoperative radiation therapy for pancreatic adenocarcinoma. | Takamori H | 消化器外科 |
| Hepatol Res | A case of adrenal rest tumor of the liver: Radiological imaging and immunohistochemical study of steroidogenic enzymes. | Baba Y | 消化器外科 |
| Dig Surg | Clinical characteristics of gastric cancer with metastasis to the lymph node along the superior mesenteric vein (14v) | Masuda T | 消化器外科 |
| Surg Endosc | New technique for the retraction of the liver in laparoscopic gastrectomy. | Sakaguchi Y | 消化器外科 |
| Int J Cancer | HLA-A2-restricted CTL epitopes of a novel lung cancer-associated cancer testis antigen, cell division cycle associated 1, can induce tumor-reactive CTL | Harao M | 消化器外科 |
| Clin Exp Med | Rapid genotyping of tumor necrosis factor alpha with fluorogenic hybridization probes on the lightcycler. | Hayashi N | 消化器外科 |
| Cancer Sci | ORP5 (oxysterol-binding protein-related protein-5) is related to invasion and poor prognosis in pancreatic cancer. | Koga Y | 消化器外科 |
| Gastroenterol Res | Improved recovery of exfoliated colonocytes from feces using newly developed immuno-magnetic beads. | Koga Y | 消化器外科 |
| Gastric Cancer | Heterogeneous prognosis of patients with T2a tumors according to the tumor depth in the proper muscular layer. | Imamura Y | 消化器外科 |
| Am J Surg | Pancreatoduodenectomy using a no-touch isolation technique. | Hirota M | 消化器外科 |
| Int J Clin Oncol | Prognostic value of CD57+ T lymphocytes in the peripheral blood of patients with advanced gastric cancer. | Akagi J | 消化器外科 |
| Cancer Sci | Identification of the H2-Kd-restricted CTL epitopes of a tumor-associated antigen, SPARC, which can stimulate antitumor immunity without causing autoimmune disease in mice. | Ikuta Y | 消化器外科 |
| Jpn J Clin Oncol | Detection of the DNA point mutation of colorectal cancer cells isolated from feces stored under different conditions. | Koga Y | 消化器外科 |
| Oncology | The relationship between Glucose transporter type 1 expression and FDG uptake in Esophageal Squamous Cell Carcinoma | Hiyoshi Y | 消化器外科 |
| Clin Cancer Res | MicroRNA-21 regulates proliferation and invasion in esophageal squamous cell carcinoma. | Hiyoshi Y | 消化器外科 |

小計

112